

9時30分送迎レイン発 バス⑥番大塚行き
 ハーブの会 休会
 ・女子青年 例会 2月6日(火)
 濱東分教会 18時30分 葉作り
 ◆青年会・献血担当… (㊟杉本真俊委員)
 ・2/18 献血呼びかけひのきしんは休会
 ◆学生会… (㊟森田直晃委員)
 ・2/18 まなびばINおちば 場所 山名詰所
 ・静岡教区学生会「春の学生おちばがえり」
 教区からバスが出ます。3/27～29 参加
 費10000円 山名大教会10時出発 詳細は
 チラシ参照の事。大勢の参加お願いします
 ◆広報庶務部・書籍… (㊟山口正洋委員)
 ・ふれあい折り込み3月は1組です。よろしく
 お願いいたします。
 ◆時報手配り… (㊟澤田常和委員)
 ・2月手配りは2・9・16・23日拠点教会到着
 となります。お間違いのないようお願いし
 ます。
 ◆少年会… (㊟小田木智嗣委員)
 少年会静岡教区団総会 教務支庁
 3/29 受付10時30分 開始11時
 座りづとめ・よろづよ八首を税ニ総立ちで
 つとめます。役割に当たっている方は、ハッ
 ピ・白靴下持参ください。

◆2月定例支部活動
 ◆合唱団アヴァンティ練習日
 と き 2月7・21日 3月6・20日
 会場 鴨江アートセンター (206号)
 ◆あらみち会… (㊟伊藤忠雄委員)
 日 時 22日(木) 9時15分～12時
 会 場 濱宿分教会
 講 話 木船嘉弘先生
 一人も多くの方のご参加を！
 送迎 浜松駅8時20分送迎レイン出発
 ◆定例委員会・例会
 ◆運営委員会… 西大濱分教会
 と き 3月2日(土) 9時30分
 ◆青年会献血… ミューズ
 と き 2月18日() 休会
 ◆婦人会… 大藤一分教会
 と き 2月19日(火) 10時
 駅送迎レイン 9時30分発
 バス⑥番 大塚行

◆各組活動
 【1組】… 組長 鈴木 豊司(濱東)
 〈配本・集金〉 2月28日(水) 濱東
 〈合同会議〉 3月6日(水) 14時 濱東
 〈ひのきしん〉 月 日(日) 6時00分 休会
 【2組】… 組長 渡邊英一郎(濱松)
 〈配本・集金〉 3月6日(水) 支部例会後
 【3組】… 組長 長田 虎夫(濱都)
 〈会長会議〉 2月28日(水) 10時 濱都
 〈班長会議〉 月 日() 時 分 休会
 〈ひのきしん〉 日時未定 曳馬
 【4組】… 組長 谷口 和幸(四日市浜)
 〈合同会議〉 3月9日(土) 9時30分 四日市浜
 【5組】… 組長 古山 慶仁(濱宿)
 〈会長会議〉 2月28日(水) 9時30分 濱宿
 【6組】… 組長 宮本 善成(長上)
 〈合同会議〉 3月9日(金) 19時 東濱名
 【7組】… 組長 太田 貴之(濱名)
 〈組例会〉 3月9日(土) 10時 篠原

ふれあい

2024年
 2月号
 No.474
 支部と
 支遠よ

このよふなない事ばかりゆうのハな
 これがしんがつみなまことやで
 第八号―39

令和6年能登半島地震

石川県珠洲市のいま

2組組長

渡邊 英一郎
 (濱松分教会長)

1月1日午後4時10分、教
 会の皆さんには、元旦祭と年
 始のあいさつもひと段落して、
 ほっとしていた時間帯だった
 と思います。私は気づきませ
 んでしたが、ここ遠州でも揺
 れを感じた人は多かったよう
 です。その後ニュースを見て、
 津波特別警報が連続して流れ、
 「これは、この前を超える地震
 がきた」と思いました。

皆さんもご存知のように昨
 年の5月にも震度6強の大き
 な地震が能登半島を襲いまし
 た。ただでさえ自然の厳しい
 土地柄、コロナで観光産業を

中心に忍従を強いられ、やっと
 そこを抜けたと思われた矢先の
 出来事でした。その傷が癒され
 る間もなく、今回はその時を遥
 かに上回るマグニチュード7.6、
 最大震度7の奥能登を中心とし
 た壊滅的な規模の震災。

たまたま、私の家内が石川県
 珠洲市の出身で、ご両親は今も
 その地で教会長夫婦として勤め
 ています。地震直後の数分で、
 家族は津波を逃れて近くの小学
 校(避難場所)へ走った、と

いう連絡はあったあと、通信が
 二日ほど全く途絶え、家内もな
 んとか情報を得ようと必死でし

た。

失われてしまったたくさんの
 命、まだ見つかからない人々、そ
 して現在も先の見えない過酷な
 状況の中で毎日をなんとかしの
 ぐ人々、その方々を思うと言葉
 もありません。また、震災後
 の状況はそれぞれの地域で刻々
 と変わりますから、皆さんがこ
 れを読まれる頃には古い偏った
 情報となっているかもしれませ
 んが、震災被害がもつとも甚大
 であった地域の一つの事例とし
 て、珠洲市の1月末の状況をお
 伝えます。

報道でもありましたように、
 珠洲市全体の6千戸のうち3千
 戸が全壊・半壊となりました。
 海沿いの地域では、津波にやら
 れた住宅も少なくなかったよう



被災された教会
 (岐阜教区災救援隊提供)

です。その後ひと月、市内のほ
 とんどの地域は手つかずで、片
 付けどころか、赤や黄のタグ
 が貼られ我が家であっても近づ
 くことさえできないたくさんの
 家々。
 珠洲市にある天理教の教会
 は、10教会のうち4カ所が全
 壊、5カ所が半壊となりました。
 家内の実家教会も27日、ようや
 く電気がつきましたが、水道は
 市内全体で新しく作り直さなけ
 ればならない程のダメージを受
 け、復旧の見込は立っていませ

ん。ですから、簡易トイレは欠かせないなど、衛生面の不安も大きいです。

そのような状況と本格的な寒さの到来で、震災前から超高齢化と過疎化の進む地域、被災した人々は希望を失いかけています。珠洲市の半数近く人々は二次避難での移動を余儀なくされました。

残った人々と慣れ親しんだ郷土のために、わずかな光の中で、現地のようにぼく達も必死で明かりを灯そうと動いています。被害の最も大きかった輪島市、珠洲市では、一般のボランティア受け入れは始まっていません。それでも次々と、さまざまなグループ、教友の方々が訪れ、惜しみのない支援のリレーを、役割を分担しながら繋ぎ合っています。

災害ボランティアを幾度も体験してこられた有志方々と共

に、現地のようぼくの皆さんは、今は「守られた命を繋ぐこと」を最大ポイントとして、先ずは食事の安定、次にトイレ等の衛生面、その次にはお風呂、そこまでの送迎等、環境を共にする中で見えてくる課題に応えたいと、被災者であることを忘れるくらい動きで復旧に繋がるよう動いておられます。

しかしそれはただ一過程に過ぎず、最も目指すところは、与える・与えられるということではなく、**地元の人達が自力で前を向いて歩いていこうとする、その姿勢の後押しをさせてもらう**ことが私達の目指す本来のボランティアだと聞かせてもらいました。

大節の中だからその、ようぼくとしての**底チカラ**が問われていると感じます。教祖年祭への道のりと重ね、それが今こそ発揮され、本当の**「節から芽が**

出る」姿になっていくのだと思います。被災地では、物資・人材の支援はまだまだ必要ですが、復興までの道のりは、果てしなく長いものになるでしょう。現地の皆様と共に、それぞれの持ち場立場で出来る息の永い心のサポートが何より、望まれていると感じます。

ですから、私たちが出来る支援の一つは、「水道の蛇口から水が出る」など、当たり前の毎日により感謝をもって通ることと、自分が今向き合っていることにより誠実に、精一杯真剣に取り組むこと、そのところで現地の人々とつながっていくことだと思います。



現地でひのきしんにあたっておられる方々

◎珠洲ひのきしんセンター
<https://suzuhinosen.tenri-kyo.org/access/#horyu>
石橋雄一郎(天理教實立分教会) 0768-82-1036
矢田嘉伸(天理教北乃洲分教会) 0768-82-1701

支部だより

立教 187年
R6.2
NO.580

◆表統領挨拶

・今年には年祭活動三年千日の2年目を迎えます。祭典後、真柱様から年祭活動も二年目に入るが、年度替わりで慌ただしくしているうちにすぐに後半戦になる様なお話がありました。旬は仕切つてあるので、月日が過ぎれば残りは少なくなりますから、しっかり働かせていただかなければならないと思います。真柱様がお話しくだされた、親神様と人間との心の開きを少しでも縮められるようにという内容の話があります。明治20年、教祖が現身をお隠しになられる前に、扉を開いて、扉を閉めて踏み出されるかというお尋ねに対して、扉を開いてお願いをした結果が、現身のお隠しになったのであります。その部分が神様と人間との思案の差が一番大きなところで、それをまざまざとお見せいただいたことと思います。必ずその開きはあるけれど、追いつく事は出来なくてもその差を縮められるように、思召しに対して如何にできるかということを考え、努力をしていかなければならないことだと思えます。私達の成人、信仰の度合い、色々な面で努力をさせていたたく事が年祭活動を推進していくことにも繋がっ

ていくと思えます。行事だけではなく日々の活動、それが各拠点で本当に進められるようにお声がけをしていただきたいと思います。

◆本部・教区事項

- ◆ひのきしんスクール◆◆◆
「不登校」子どもの事情を通して」
開催日時：立教187年(令和6年)2月26日(月)～27日(火)
会場：おやさとやかた東左第4棟3階
対象：ようぼく、定員：60名
受講御供：2,000円 締切日：2月15日

◆支部事項

- ◆書籍担当…………… (☎吉岡孝広委員)
・本の部数変更受け付けます。各組ごとに組長を通して連絡をお願いします。変更受け付け期限は3/6までです。4月配本分から変更となります。
- ◆「さんさい」が月刊から季刊に変更となります。年12回から4回(春号・夏号・秋号・冬号) 季刊化準備のため4・5・6月号は休刊します。夏号(7/1発行)から新しい「さんさい」をお届けします。
- ◆布教部…………… (☎長田虎夫委員)

・まだまだ寒い日が続きますが、気を引き締めて勇ませていただきますよう！

・「天理教民生児童委員連盟」

昭和34年に「天理教民生委員連盟」として結成。平成8年より「天理教民生・児童委員連盟」と改称し、現在に至ります。教内の民生・児童委員(ようぼく)を対象に毎年、総会や研修会を実施して、お道の教えをもとに地域社会安全に取り組んでいます。連盟会員向けの機関誌を発行しております。天理教布教部Eよりダウンロードできます。

◆教務部…………… (☎吉岡弘和委員)

地名変更届を記入して提出して下さい。

◆ひのきしん部…………… (☎木船嘉弘委員)

全教一斉ひのきしんデーが近づいてきました。今年も友愛のさと、舞阪町稲荷山公園で実施します。凧揚げ会場もよろしくお願いたします。

◆災救隊…………… (☎水野慎治委員)

・2日より一名が被災地へ炊き出しのひのきしんに出勤しています。

◆婦人会…………… (☎木船真澄委員)

・2月19日(月) 婦人会例会 10時
会場 大藤一分教会 しおり作り 持物
カッター・ハサミ・テープ・のり